

対象地域：熊本県

再生課題：二次的草原の維持再生とその利活用

あ そ そう げん 阿 蘇 草 原 再 生 協 議 会

再生 目標

草原の恵みを持続的に活かせる仕組みを現代に合わせて創り出し、かけがえのない阿蘇の草原を未来に引き継ぐことを目指す。



- 事務局
環境省九州地方環境事務所
- 対象地域
熊本県阿蘇郡南阿蘇村、小国町、南小国町、
産山村、高森町、阿蘇市、西原村、山都町
の一部（旧蘇陽町）
- 協議会：H17. 12. 2 設立
- 全体構想：H19. 3. 7 策定（第1期）
H26. 3. 13 策定（第2期）
R 3. 11. 25 策定（第3期）
- 実施計画：H21. 3. 4 策定（野草地）
H25. 3. 12 変更（野草地2期）
H23. 3. 10 策定（草原湿地）
R6. 3 策定（野草地3期）
(R7. 3現在)



阿蘇の草原は、東西約18km、南北約25km、
周囲100km以上に及ぶ世界最大級のカルデラ
地形の内外に広がっています。この草原は
人々が長い間利用することによって成立した
ものであり、人々が生活や農畜産業のため
に手を入れることにより維持され、草原景
観と多様な動植物が生息・生育する豊かな
草原環境が守られてきました。

しかし、農業形態や生活様式の変化など
により、草原維持のための一連の作業を
行うことが困難になり、草原面積の減少
や荒廃が目立つようになりました。

このため、長い間草原をうまく利用する
ことにより守られてきた草原環境を保全・
再生・維持管理し、次世代へ引き継ぐた
めの取組を進めています。

自然再生の手法

- 草原の牧野利用の維持管理
- 草原環境の保全
- 草原学習の実施
- 野草の多様な資源利用の促進
- 草原の適正な観光利用の検討
- 草原保全のための支援体制の構築



オオルリシジミ (撮影：寺崎昭典)



ハナシノブ



輪地切りの作業



野焼き風景